

2010/08/03

JP モルガン証券 菅野雅明

意見メモ：GDP 統計(速報値)について1. 問題点

- (1) 第1次速報値から第2次速報値への改訂幅が(他国の例に比べ)大き過ぎる
 - 今般「(民間企業設備投資の)推計方法の改善」が発表され、技術面の改良は進んだが、依然として改定は大幅
- (2) 推計方法の開示が不十分
 - 在庫、公的資本形成
 - 個人消費については「消費総合指数」発表により推計が容易に。ただし、消費総合指数の遡及訂正がやや大き過ぎる

2. 原因(上記1-(1))

- (1) 需要サイドのデータに依存しすぎ
 - 需要サイドのデータ(法人企業統計、家計調査)の劣化が進行中：回収率の問題
- (2) 供給サイドのデータの改善も必要
 - 鉱工業生産統計、商業販売統計、サービス産業動向統計などの充実
- (3) 一次統計作成上の問題
 - 季節調整の際の異常値処理方法などに改善の余地
主系列を前年同月比から季節調整済み系列に変更していただきたい
発表様式の統一化(各省間の統計作成・発表様式の整合性)が望ましい

3. 対応策

- (1) 1次・2次QEを供給サイド中心の作成に改める
 - 供給サイドだけで1次・2次QEを作成した場合の誤差は?
- (2) 1次QE作成に際し用いられる供給サイドの指標をGDP作成部署が点検し、一次統計の質の向上を検討する
 - これまでの「現存する一次統計を前提にGDP統計を作成」から「望ましい一次統計とは何か」という原点に立ち返って一次統計のありかたを点検する
 - その際には、米国など海外諸国の例を参考にする
- (3) 需要サイドのデータは「確報」の際に用いる
- (4) 一次統計のスクラップ&ビルドを積極的に進める(選択と集中)

4. その他の要望：次の計数を1次または2次QEで発表していただきたい

- (1) 可処分所得(できれば企業収益も)：高齢者のウェイトが上昇、所得移転がより重要に
- (2) 在庫の内訳(製品在庫、流通在庫、仕掛品在庫、原材料在庫別)
- (3) 政府消費の内訳(とくに医療・保険)

以上